# 山 行 報 告 書

作成:2010 年 7 月 29 日
愛知岳連　岡崎山岳会

| 山名[山域] | 奥穂高～西穂高 [北アルプス] | 目的[方法] | 難路であるジャンダルム縦走 |
|---|---|---|---|
| 期間 | 2010年7月17日(土)～18日(日) | 形態 | 一泊二日　小屋泊　周回 |
| 参加人数 | 4 人 | | |

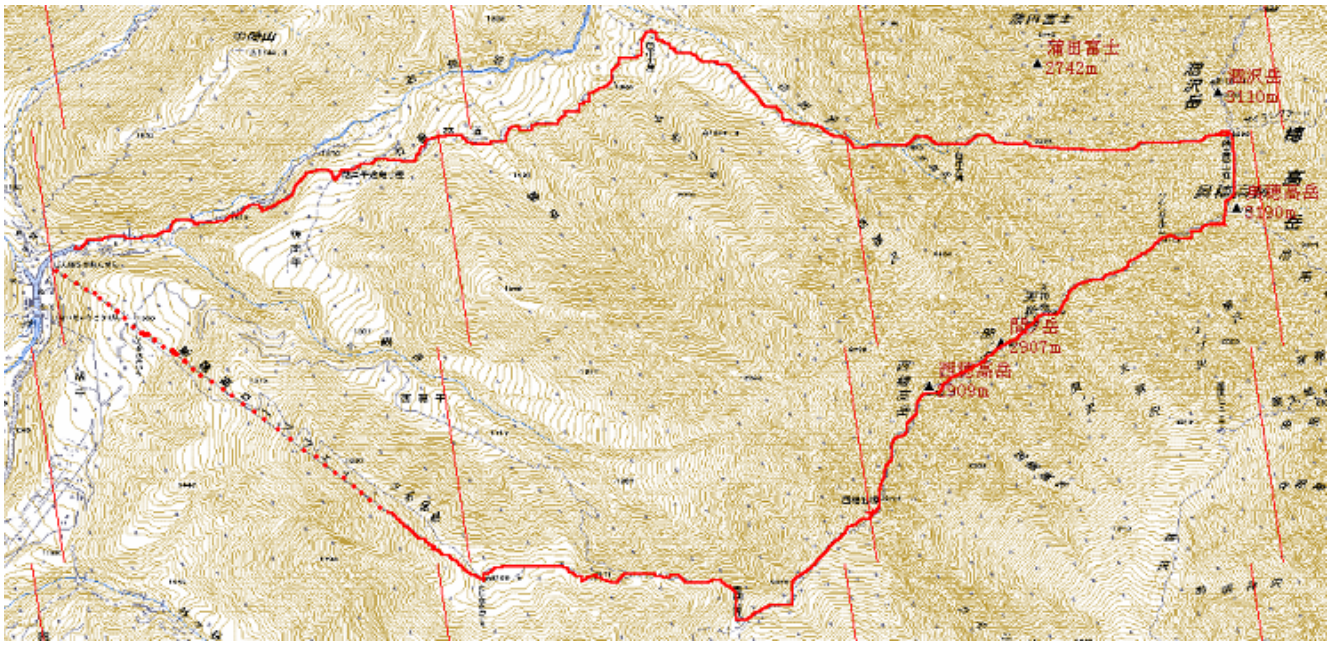
行動記録:

◇7/16(金)　岡崎市民病院 PKG(21:20) ＝ 岡崎IC(21:30)＝美濃加茂SA(22:10)＝飛騨清見IC(23:20)＝新穂高温泉 PKG 近くの公共施設駐車場 TS1(1:20)

◇7/17(土)　曇りのち雨　TS1起床(5:30)＝新穂高温泉 PKG(6:00 6:30)－ 槍・穂高登山口(6:50)－穂高平小屋(7:30)－ 槍平・奥穂高登山口分岐(8:20 8:30)－ 渡渉点(9:30 10:00)－ 穂高岳山 TS2(14:10) 就寝(20:00)

◇7/18(日)晴れ　TS2起床(4:00) 朝食(5:00)-TS2出発(5:30)-奥穂高岳(6:10)－ 馬の背(6:40)－ ロバの耳(7:10)-天狗のコル(9:20)-天狗ノ頭(9:50)－ 間天のコル(10:20)－ 間ノ岳(10:50)－ 西穂高岳(12:30)－ 独標(13:30)－ 西穂山荘(14:30 14:50)－ 新穂高ロープウェ終点(17:00)－ 新穂高温泉 PKG(17:20 17:50)= 温泉「ひがくの湯」(18:00 18:40)= 飛騨清見IC(20:00)=ひるがの高原SA(20:20 20:50)= 岡崎IC(22:20)= 岡崎市民病院 PKG(22:30)

概念図:




日誌:　16日(金)　前夜発で、新穂高無料駐車場に到着。テントを設営し寝ようとするが巡回のおじさんにテント禁止と怒られて渋々撤収、近くに公共施設の駐車場がありここにテントを設営、もう1時30分になってしまった、寝不足を覚悟しすぐに就寝。17日(土)　小屋への状況確認では、まだ雪渓が多く残っているのでピッケル、アイゼンは必要な事と渡渉点の雪渓が崩落しているかも知れないとの情報を得ていたが、下界はこんなに暑いのに実感がわかない。白出沢コースで出発、しばらく林道を歩き樹林帯を抜けると渡渉点につく。情報通り雪道は完全に崩落していて、沢の水流は強く渡渉に苦労する。実際ピッケル、アイゼンを持ってこなかった登山者が何人か引き返していた、ここから小屋近くまで雪渓が続いていて涼しい風が気持ちいい。途中雨に降られカッパの上は着ていたが下はアイゼンを付けていたので、はくタイミングを逃し靴の中からパンツまで濡れてしまった。小屋に着き直ぐ着替え濡れたものは乾燥室へ、小屋泊はありがたい。穂高岳山荘の宿泊客は7、80人くらいいただろうか食堂が満杯になるくらいの人。おいしい夕食を頂き乾杯、早めに就寝。18日(日)　4時に起床、小屋泊りは時間に余裕があり、綺麗な朝焼けを堪能、今日は快晴で朝から気持ちが良い。5時30分出発、奥穂高岳に登りここから難路に入る。最初に馬の背、両側が切れ落ちていて浮石も多い、こけたら転落慎重にいく、次にジャンダルが迫ってくる、奥穂側からの直登ルートと西穂側へ回込んで登るルートがあるが後者のが簡単らしい、いざ取り付くとホールドもしっかり見つかり、浮石に気をつけながら頂上へ、念願のジャンダルムに立っていると思うと嬉しい。ここからアップダウンを繰り返し4つのピークを越え西穂高岳に到着、ここまで来ると人がどっと増え少し渋滞するほど、ロープゥーエ-乗り場では1時間程並びやっと終点、ここが一番疲れた。　温泉で汗を流し帰路に着く。

感想:

天気に恵まれ風も無く、いい条件で難路を歩けた事はラッキーでした。毎月の岩練や沢登りで岩に少しでも慣れたことが余裕をもって行動できたのかなと思います。また会に入って始めての小屋泊でとても快適だったのでたまにはいいなと思いつつ苦しいテント泊の良さもわかりました。充実した2日間の山行、メンバーの皆さんありがとうございました。